

帯 財 政 第 2 1 1 号
平成 22 年 10 月 19 日

部 長

事務局長

市 長

平成 23 年度予算編成方針

わが国経済は、米国発の世界的な金融不況の影響から脱し、自律的回復に向けた動きがみられるものの、デフレの影響や雇用情勢の悪化懸念、さらには、円高の進行という新たな課題を抱え、依然として先行きに明るい兆しが見えない状況にある。十勝・帯広においても同様であり、加えて地域の基幹産業である農業についても春の低温や夏の猛暑などの異常気象による影響も懸念されている。

私は、農業を基盤としたこの地域のポテンシャルは非常に高く、本市の取組によって、この地域を元気にするだけでなく、北海道、そして日本全体の元氣回復にも貢献することができると考えている。

このため、「フードバレーとかち」の実現に向けて、「食」と「農業」を柱とした地域産業政策を展開するとともに、「フードバレーとかち」を視点とした各種施策と併せ、これを「地域の成長戦略」として、将来を見据え、広域的な視点に立ち、スピード感を持って推進していかなければならない。

平成 23 年度予算編成にあたっては、こうした考え方のもとに、第六期総合計画の推進、公約実現に向けた取り組み、地域課題への的確な対応を図るため、3つの重点を設定する。

各部長はそれぞれの部門における「経営者」として、今年度実施した政策・施策評価の結果を踏まえ、施策実施手法等の見直し・改善を行いながら、予算編成にあたるよう示達する。

記

1. 予算編成における重点

- (1) 元氣な地域経済をつくる
- (2) 元氣で健やかなひとをつくる
- (3) 元氣で安心な暮らしをつくる